



## 活動紹介コーナー



## 令和3年3月 ほっと会

介護者同志、お互いに話したり聞いたりしてほっと一息ついてほしい…。そんな願いを込めた介護者家族交流会です。今回は、7/21(水)です。詳細は、広報かのやに掲載します。



## 令和3年2月パネル展



鹿屋市内13か所で、健康・福祉に関するパネルが展示されました。

写真は、鹿屋市役所1階壁面前認知症関連コーナー



## 認知症サポート医より



## 【認知症疾患医療センターについて】

以下①認知症疾患センターの紹介 ②認知症鑑別診断の現状 ③早期診断のメリットの順でご報告します。

- ①現在、鹿児島県には11拠点の認知症疾患医療センターがあり、当院は平成28年6月1日に9番目の拝命を受け、月平均70～80名の認知症関連疾患を初診しています。当センターの主な役割は認知症の方やご家族、かかりつけ医、地域包括支援センター等からの紹介を受け、認知症の診断、行動・心理症状(BPSD)、身体合併症への対応、介護施設への紹介、介護保険申請相談、運転を中心に各種免許更新の是非を行う医療機関です。
- ②認知症には主に4タイプ(㊦アルツハイマー型、㊧レビー小体型、㊨血管性、㊩前頭側頭型)の疾患があります。昨年度の当院の認知症疾患内訳は㊦が65%(全国平均50～70%)㊧は1.1%(同10～20%)㊨は0.7%(同20～30%)㊩は3.2%(同10%前後)その他(アルコール性等)が30%でした。
- ③認知症は進行性の疾患です。早期発見、早期治療することで進行の防止、症状緩和(特にBPSD)、適切な介護サービスへの紹介、社会的理解の獲得、将来設計の準備等が挙げられます。



メンタルホスピタル鹿屋 院長  
認知症疾患医療センター長  
小林 憲史 医師

以上のことから、当センターは認知症の診断から介護保険申請相談、日常生活相談等、幅広く対応しております。まずはお気軽にお問合わせください。

住 所：田崎町1043-1  
相談専用電話：0994-36-1870

※ 行動・心理症状(BPSD)：不安・焦燥、うつ状態、幻覚・妄想、興奮・暴力、徘徊、不潔行為等

# “認知症になっても安心して暮らせるまち！かのや”を目指して

## 認知症相談窓口「オレンジのまど」

鹿屋市では、認知症の方や家族を支えるサポートワーカー（認知症地域支援推進員）88人を各地域に配置し、認知症に関する身近な **相談窓口（「オレンジのまど」）** を設置しています。市内にお住まいの方であれば、無料でご相談に応じています。

※この看板が目印 →

【R2.12月新たに「オレンジのまど」を開設した事業所】



法人名	事業所名	所在地	連絡先
特非)隣の会	ピアハウス	笠之原町7410-5	41-0771
有)広 優	グループホーム 織月の郷	川西町2483	42-6667
社福)愛光会	小規模多機能ホーム あいわ	吾平町麓3635-1	58-8335
社福)以和貴会	住宅型有料老人ホーム 年輪	串良町下小原3105-2	62-8805

※上記以外の窓口は、鹿屋市ホームページでご確認ください。  
 問合せ先: 市高齢福祉課 電話31-1116

鹿屋 認知症サポート

検索

## 長谷川先生の「100の言葉」から

長谷川和夫先生: 日本の認知症医療の第一人者。  
 2017年に自身も認知症であることを公表。昭和4年生まれの92歳。



認知症になって  
わかったこと

大事なのは今を生きること。今日ある今を生きることです。  
 認知症になったのは不便なことですが、不幸なことではありません。

認知症の(不安な)  
皆さんへ

認知症になっても人としてのプライドを失うわけではありません。  
 過去の記憶がすっぱり抜けても不安に思うことはありません。  
 なぜならば、あなたの周りがそれらを覚えてくれているからです。

身近な人が  
認知症になったら

誤解を避けるために、正しい知識を身につけましょう。そして、認知症ケア  
 は決して一人きりでは出来ないことを知り、周囲を頼りましょう。

認知症ケアに  
必要なこと

認知症ケアに必要な三つのスキルは、「寄り添うこと」「聴くこと」「右脳  
 (感性)に働きかけること」です。同情ではなく共感することが大切です。

### 認知症クイズに挑戦！

鹿屋市の認知症の人の割合は、  
どのくらいでしょうか？

- ① 13%    ② 15%



数字の認知症の人の割合は、  
介護保険申請者が対象です。  
市内には、本人と家族だけで  
悩んでいる方がまだまだ多い  
と推測されています。

【答】 ① (②は全国)

